

# 草創期の北陸学院短期大学 II

— 当時の教育が育んだもの —

多保田 治 江

## 1. はじめに

北陸学院短期大学は、今から52年前（1950年）に「北陸学院保育短期大学」として開学した。単科（保育科）の日本一小規模な短期大学であった。私は保育学科の50周年準備委員の任にあったので「保育学科の50年のあゆみ」を調べるために、これまでに書かれた保育学科の歴史の調査や学内にある資料に加えて同窓生の方々からも貴重な写真をお借りして学外、学内で「資料展示」を開催した。その時に感じたことは、限られたスペースの中で「資料展示」をするとすると大学の歴史的流れを追うことの側面のみになってしまうということだった。もう一方の大学が創設された背景やその当時在籍した学生が大学に対してどのようなイメージを持ち、授業や学生生活を過ごしたのか、2年間の学びがその後の生活にどのような影響を及ぼしたのかという学び手の側面を調査し、考察することがこの50年という節目の機会に必要であると考えた。先回の「草創期の北陸学院短期大学 I —創設当時の教育が育んだもの—」（註1）では、大学が創設された背景と1回生から3回生の学生動向について発表した。今回は4回生から10回生への調査を基に論じることとする。

## II. 北陸学院保育短期大学4回生から10回生の学生動向

### アンケート調査

今回の小論では4回生から10回生（180名）にご協力をいただき、アンケート調査を実施した。2002年6月末現在の4回生から10回生の消息と全国分布状況は次の通りである。

・アンケート調査配布	180名	2002年7月20日
・回答数	66	回答率 37%
内 訳	4回生 7 30%      8回生 10 43%	
	5回生 11 37%      9回生 13 52%	
	6回生 7 28%      10回生 11 38%	
	7回生 7 28%	

但し、5回生のご家族より病氣療養中という回答が1通あった。

多保田 治 江

	卒業者数	死亡者数	不明者数	計
4回生	27名	3名	1名	23名
5回生	34名	3名	1名	30名
6回生	28名	1名	2名	25名
7回生	29名		4名	25名
8回生	26名	2名	1名	23名
9回生	26名		1名	25名
10回生	32名	1名	2名	29名
計	202名	10名	12名	180名

	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生	10回生	計
石川県	9名	11名	11名	13名	9名	10名	10名	73名
富山県	2名			1名	2名	4名	3名	12名
福井県			1名	2名	1名		3名	7名
神奈川県	2名	6名	3名	2名	2名	2名	3名	20名
東京都	3名	4名	3名	1名		3名	3名	17名
大阪府		4名		2名	1名	2名	1名	10名
埼玉県	1名	1名	2名		2名		2名	8名
愛知県	1名	1名	1名	2名	1名		1名	7名
兵庫県	2名		1名			1名		4名
千葉県		1名	1名			1名		3名
京都府	1名				2名			3名
奈良県					2名	1名		3名
北海道			1名		1名			2名
三重県		2名						2名
茨城県							1名	1名
新潟県							1名	1名
静岡県			1名					1名
長野県						1名		1名
岡山県				1名				1名
愛媛県				1名				1名
福岡県							1名	1名
宮崎県	1名							1名
アメリカ	1名							1名

結果と考察

数字で表されるデータに関しては最近の卒業生である49回生から51回生と比較することとした。

○入学者

入学者に関しては「設置認可がおりてから開学まで期間がなかったこと」や「子守りが保育者の仕事と思われていたこと」もあって、2回生までは定員の25名には満たなかった。だが3回生以降は定員を順調に上回っている。特に5回生の入学志願者が多く「志願者71名あり、合格者を38名とした。開学以来、学生募集のために相当苦勞してきたので多くの志願者を与えられたことは一同の大きな喜びであったし、学力、人格ともにすぐれた人物が入学することによってよい伝統がうけつ

がれ又新しい分野が創造されることを期待する気持は切実であった。」と北陸学院保育短期大学十年史に記されている。(註2) 49回生から51回生の定員は100名であるので4倍となり、実際の入学者は約5倍となった。しかし、学生の大多数が石川県出身であることは当時と同じ傾向であった。

○入学者と出身地 (註3)

	入学者	出身地
4回生	30名	石川県26名, 福井県1名, 東京都1名, 兵庫県1名, 山口県1名
5回生	36名	石川県25名, 富山県7名, 福井県2名, 三重県1名, 京都府1名
6回生	35名	石川県31名, 富山県3名, 福井県1名
7回生	33名	石川県25名, 富山県4名, 福井県2名, 大阪府2名
8回生	26名	石川県18名, 富山県6名, 福井県1名, 東京都1名
9回生	28名	石川県22名, 富山県3名, 福井県2名, 新潟県1名
10回生	34名	石川県28名, 富山県2名, 福井県2名, 岐阜県1名, 三重県1名

	入学者	出身地
49回生	132名	石川県122名, 富山県7名, 新潟県2名, 宮崎県1名
50回生	123名	石川県104名, 富山県13名, 福井県1名, 埼玉県1名, 愛知県1名, 滋賀県1名, 鳥取県1名, 高知県1名
51回生	125名	石川県115名, 富山県6名, 福井県4名

	石川県出身者	他県出身者
4回生～10回生	175名 (79%)	47名 (21%)
49回生～51回生	341名 (90%)	39名 (10%)

○就職状況

4回生から5回生までは卒業証書授与式において卒業証書と共に、幼稚園教諭2級普通免許状・保育資格証明書・小学校教諭2級普通免許状が授与された。6回生以降は小学校教諭2級普通免許状が取得できなくなった。4回生から10回生は、主に幼稚園に就職する傾向にあったが、ここ最近では7割が保育園に就職する傾向にあるという著しい違いが現れた。

本学の傾向として地元石川県出身者が学生の大多数を占めるにもかかわらず、4回生から10回生においては、全国各地で就職している。一方、最近では入学時と同じ比率で出身地において就職する傾向にあるといえる。



第5回卒業式

多保田 治 江

○卒業時就職状況（註4）

	卒業者数	幼稚園	保育園	養護施設	幼児教育 研究所	小学校	他	家事 従事	進学
4回生	27名（-3）	22名	1名	1名		3名			
5回生	34名（-2）	22名	3名	1名	3名	2名		3名	
6回生	28名（-7）	18名	5名		2名			3名	
7回生	29名（-4）	22名	3名	1名			1名	1名	1名
8回生	26名	23名	2名					1名	
9回生	26名（-2）	23名	2名	1名					
10回生	32名（-2）	28名	3名					1名	
計	202名（-20）	158名	19名	4名	5名	5名	1名	9名	1名

	卒業者数	幼稚園	保育園	施設	企業	その他	進学者数
49回生	125名（-7）	32名	74名	10名	4名	2名	3名
50回生	120名（-3）	22名	84名	4名	3名	4名	3名
51回生	119名（-6）	24名	81名	4名	3名	5名	2名
計	364名（-16）	78名	239名	18名	10名	11名	8名

幼稚園

保育園

4回生～10回生 158名（78%） 19名（9%）

49回生～1回生 78名（21%） 239名（66%）

○就職者（卒業時）全国分布状況（註5）

	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生	10回生	計
石川県	15名	17名	17名	18名	13名	19名	15名	114名
富山県	1名	5名	2名	2名	5名	2名	1名	18名
福井県	1名	4名		1名	1名	4名	1名	12名
京浜	4名	2名	4名	1名	3名		11名	25名
京阪神	2名	2名						4名
愛知県	1名	1名	1名		1名		1名	5名
長野県	2名				2名			4名
和歌山県				1名		1名	1名	3名
岐阜県	1名			1名			1名	3名
北海道			1名	1名				2名
秋田県				1名				1名
滋賀県				1名				1名
計	27名	31名	25名	27名	25名	26名	31名	192名

	49回生	50回生	51回生	計
石川県	109名	103名	100名	312名
富山県	8名	8名	6名	22名
福井県	1名	1名	3名	5名
新潟県	1名			1名
千葉県	1名			1名
滋賀県		1名		1名
東京都			2名	2名
愛知県			1名	1名
計	120名	113名	112名	345名

草創期の北陸学院短期大学 II

質問1. 北陸学院保育短期大学のことをどのようにして知りましたか

	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生	10回生	計
1 高校の先生から	5名	2名	2名	3名	1名	4名	3名	20名
2 家族から		3名	2名		6名	3名	2名	16名
3 北陸学院で学んでいたから	2名	3名	2名		1名	1名	2名	11名
4 友人から	1名	1名				1名	2名	5名
5 牧師先生から			2名	1名			1名	4名
6 番匠鉄雄先生から		1名		1名		1名		3名
南信先生から				2名			1名	3名
受験雑誌から						2名	1名	3名
9 先輩から				1名	1名			2名
住居が近所にあったから				1名			1名	2名
勤務先の保育園長や職員の方から	1名			1名				2名
12 ウイン先生から				1名				1名
熊野正雄先生から		1名						1名
宣教師から	1名							1名
大学案内から								1名
わからない			1名					1名

高校の先生や家族から北陸学院保育短期大学進学を薦められたケースが多かった。また、北陸学院の中学校・高校に在籍していたことが北陸学院保育短期大学を「身近な存在」として捉えているケースもみられた。

質問2. 保育短期大学入学前の「北陸学院」のイメージをお書き下さい。

北陸学院がキリスト教主義の学校であることは学生には周知されていることが伺われる。「伝統ある良家の子女が集まる学校（お嬢さん学校）」というイメージは、1885年（明治18年）北陸学院の前身である金沢女学校の開学から、金沢におけるインターナショナルな女子教育を行なっている学校としてこの地方の人々に広く知られ培われたイメージだと思われる。

○保育短期大学入学前の「北陸学院」のイメージ

	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生	10回生	計
1 ミッションスクール	1名	3名	3名	3名	6名	4名	2名	22名
2 伝統ある良家の子女が集まる学校（お嬢さん学校）	3名		2名	1名	1名	2名	1名	10名
3 家庭的な温かな学校、一人一人を大切にしている学校			2名		1名	2名	1名	6名
4 明るい学校						3名	2名	5名
5 女子だけの学校、女性の館				2名	1名			3名
6 高校の制服が素敵な学校 高校の制服がユニークな学校				1名		1名	1名	3名
7 洗練されたハイカラな学校		1名			1名		1名	3名
8 いろんな資格の取得できる学校		1名			1名			2名
日本で一番小さい短期大学		1名					1名	2名
厳格な学校					2名			2名
女性らしい優しさのある学校						1名	1名	2名
清楚な学校						1名	1名	2名
13 行事の多い楽しい学校	1名							1名
キリスト教保育を学べる学校		1名						1名

多保田 治 江

ユニークな教育内容の学校	1名							1名
出来たてホヤホヤの学校		1名						1名
地味な感じの学校		1名						1名
英語に熱心な学校		1名						1名
行儀の良い学校						1名		1名
花嫁修業の学校						1名		1名
大学という存在が夢						1名		1名
入学式が母親同伴の学校							1名	1名
アメリカ人の先生が多い学校							1名	1名
静けさのある学校								1名
特にない	1名	3名	1名	3名			4名	3名
								15名

質問3. 保育短期大学入学前は何をしていらっしゃいましたか

	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生	10回生	計
高校生 (92%)	6名	9名	7名	6名	9名	12名	11名	60名
社会人 (8%)	1名	1名	0	1名	1名	1名	0	5名

- ・ 保母 3名 4回生 (キ)、5回生、7回生 (キ)
- ・ タイピスト 1名 8回生
- ・ お稽古事 1名 9回生

保育経験のある入学者は、1回生から3回生の調査では32%であったが今回の4回生から10回生では5%と現役の方が圧倒的に多かった。

質問4. 保育者になろうとした動機をお書き下さい。

動 機	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生	10回生
1 子どもが大好きであった	2名	2名	4名	2名	4名	4名	5名
2 幼稚園教諭の免許 (資格) が欲しかった				1名	2名	2名	
3 なんとなく	1名		1名			1名	
母親から薦められた		1名	1名			1名	
母親になっても大切な事が学べる		1名				2名	
両親からの薦めがあった (女性も資格を持った方が良い)		1名			1名		1名
生涯できる仕事を身につけたかった				1名	1名	1名	
音楽を生かせる仕事に就きたかった				1名	1名		1名
人の役に立つ仕事に就きたかった						1名	2名
10 歌うことが好きであった			1名				1名
やりがいのある仕事に就きたかった				1名	1名		
小さい頃からの夢だった				1名		1名	
幼児教育に関心があった							2名
14 柔軟な教育ができる	1名						
高い良識を身に付けたいと思った	1名						
学校の教師か保育者になりたかった	1名						
専門的に保育を学びたかった	1名						
ライザー先生の薦めがあった		1名					
牧師の家庭に育ち教会に幼稚園があった		1名					
信仰を生かし、教会の働きに加わりたかった		1名					
理想を生かし、正式に保育を学びたかった		1名					
母親が専業主婦で苦労していた		1名					
北陸学院附属幼稚園の園児を可愛いと思った			1名				
幼稚園の先生の態度が嫌いだったので理想的な保育者になりたかった			1名				
児童心理学を学びたかった				1名			

ピアノを弾くことが好きであった				1名			
人生に関わる仕事に就きたかった					1名		
教育の仕事に就きたかった					1名		
女性も仕事を持つべきであると考えた					1名		
幼稚園の先生が優しく好きであった						1名	
女性ならではの仕事に就きたかった						1名	
通学時に保育園の様子を見て保育者になろうと思った						1名	
姉が保育者だった							1名
リズム活動が好きであった							1名
絵画が好きであった							1名

現役で入学した学生は「子どもが大好きであった」が志望動機の1位であった。また保育園や社会福祉施設で勤務の経験のある学生は「専門的に保育を学びたかった」という志望動機で入学している。「得意分野を生かす仕事に就きたい」という能動的志望動機もあったが「両親や母親から薦められた」という受動的志望動機も多かったことが注目される。

質問5. 保育短期大学の授業や学生生活の中で印象深かったことをお書きください。

先生や授業について

動 機	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生	10回生
<u>ディーター先生と出会い、交わりを持てた</u> ・「別館ナイト」という夕食会をして下さったこと ・ハロウィンのパーティをして下さったこと ・学生の名前を入学時に知っていらしかったこと ・宗教教育の授業や礼拝メッセージ ・ピクチャーコレクションが楽しかったこと ・一緒にゲームをしたことが楽しかったこと ・当時では珍しいゼリーを食べさせて下さった			2名	6名	4名	6名	8名
<u>南先生と出会い、交わりを持てた</u> ・日曜日の朝に行なわれた聖書の学び ・思いやりのある学生指導 ・キリスト教保育の重要性を熱く語られたこと ・幼児理解の重要性を熱く語られたこと ・自由保育の重要性を熱く語られたこと ・アメリカからの帰国直後で話し方に特徴があったこと ・分かりやすい授業 ・おしゃれな雰囲気	3名	2名	4名	2名	6名	3名	3名
<u>ロバートソン先生と出会い、交わりを持てた</u> ・「別館ナイト」という夕食会をして下さったこと ・ハロウィンのパーティをして下さったこと ・一緒にゲームをしたことが楽しかったこと ・信仰者としての生き方 ・授業に赤ちゃんを連れていらしかったこと ・劇の表現法 ・身近な子どもの成長記録をつけたこと ・一緒に研修旅行で関西の幼稚園を見学したこと				3名	6名	7名	6名
毎朝の礼拝 (聖書、讃美歌5. 英語で歌った讃美歌、讃美歌を初めて聞いた時の感動、新鮮2. 心が洗われる、オルガンの音色、奨励に励まされる)	2名				2名	6名	3名

多保田 治 江

ウイン先生と出会い、交わりを持てた ・少人数で授業を受けられたこと ・讃美歌を英語で歌ったこと ・礼拝メッセージ ・ハロウインのパーティをして下さったこと ・アメリカの生活について教えて下さったこと ・ナースリースクールで歌う英語の歌を教えて下さったこと ・実習について良い評価を受けたこと ・送別のために横浜まで旅行したこと	1名	2名	4名	4名			
ライザー先生と出会い、交わりを持てた ・ユーモアあるお話に心打たれたこと ・思いやりのある学生指導 ・誕生日の意味について教えて下さったこと ・アメリカの生活について教えて下さったこと ・礼拝メッセージ	3名	3名	2名				
正宗先生と出会い、交わりを持てた ・英語朗読の美しさ ・ライザー先生著の本を読んだこと ・高い教養、学識に尊敬の念を抱いたこと ・先生の深い信仰による柔和で気品ある人格	3名				3名		
安藤先生と出会い、交わりを持てた ・ピアノレッスン ・合唱が楽しかったこと (鱒. アベベルムコルプス)		2名			2名	2名	
熊野先生と出会い、交わりを持てた ・生物の授業で野外観察に行ったこと ・金大臨海実験所でのサマースクールがあったこと ・自然のお話					2名		3名
天川先生と出会い、交わりを持てた ・「真善美に愛を加えます」と話された時の目 ・「教育の愛はキリスト教の愛だ」と話されたこと		2名		2名			
番匠学長と出会い、交わりを持てた ・入学式のメッセージ ・礼拝メッセージ			2名		1名		
金大からの非常勤講師の先生方の講義	1名			2名			
井幡先生と出会い、交わりを持てた ・ピアノレッスンや歌唱指導を受けたこと ・ゲームの授業を受けたこと				1名			1名
兼松先生と出会い、交わりを持てた ・授業態度が悪いとチョークの礫が飛んだこと	2名						
密田先生の授業	1名						
キリスト教を学んだこと	1名						
教育実習が楽しかったこと		1名					
アメリカ人の家庭では「躰を幼児にきちんとつける」ということ		1名					
上河原牧師の暖かい人柄と態度			1名				
保育実習で子どもの前に立ったこと			1名				
人柄溢れる沢田先生の授業			1名				
柿沼牧師との触れ合い				1名			
幼稚園の実際の姿が聞けた江川先生の授業				1名			
中澤先生の授業でアウグスチヌスの告白論を話されたこと					1名		
夏期保育を任されたこと						1名	
子どもの名前は1週間内に覚えることの大切さ							1名
人前で話すことの訓練が絶えずあったこと							1名



行事について

クリスマス (クリスマス祝会6. ページェントを演じたこと3)			1名	1名	3名	3名	1名
修養会 (加藤牧師との出会いに感動. 松本牧師との出会いに感動)						1名	2名
新入生歓迎会 (手作り招待状. 手作りケーキと紅茶)						2名	
先生と学生が一同に集まることが多かったこと (宗教行事. 修養会. クリスマス)				1名			
卒業リサイタル (ピアノ)			1名				

校舎や学生について

家庭的な雰囲気	1名				3名	1名	1名
クラスメートとの語り (教室の薪ストーブを囲んでの. 仲がよい)	3名						1名
メサイア公演に参加したこと			2名				1名
寮生活で共同生活をしたこと (学長はじめご家族・中・高等部の先生も同じ屋根の下だった)					1名	1名	
ウイン先生の大好きな讃美歌、その他の讃美歌やクラスソングを事あるごとに合唱したこと	1名						
早朝サイクリングで専光寺浜に出かけコーラスしたこと	1名						
校舎前庭の四季折々の花や樹木	1名						
小さく洒落た西洋館の校舎とレンガの小径 (緑と白のペンキ塗り)	1名						
金沢教会に行ったこと	1名						
勉学に熱心で人柄も真面目な学友の姿		1名					
文集を作成したこと						1名	
附属幼稚園の塙を二階から見る							1名

現在とは違いアメリカという国が遠い存在であつた時期にアメリカ人の先生方から宗教行事の持ち方やアメリカの生活についてパーティの形式で知ることができたり、「別館ナイト」という何回かに分けて少人数の学生を招待して持たれる食事会が印象深かったようである。また南先生のキリスト教保育に対する姿勢が心に残ったように思われる。

質問6. 保育短期大学で培われたことをお書き下さい。

培われたこと	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生	10回生
1キリスト教. 信仰 (信仰を持って生きることの素晴らしさ. 讃美歌を歌うことによって励まされるということ)	4名	4名	1名	4名	1名	4名	3名
2人間関係でキリスト教による宗教観が重要であること (隣人への愛. 寛容な心. 忍耐力)	2名	1名	1名	4名	1名		7名
3キリスト教保育の精神 (一人一人の子どもを神から与えられた一人の人として大切に接すること)		1名	3名		1名		4名
4友情	3名	2名			1名		1名
幼児教育が重要であること	1名				2名	3名	
6子どもや人の見方の基礎		1名			1名	2名	1名

多保田 治 江

7 子どもや保護者に対して細やかで丁寧に敬意を持つ姿勢 (アメリカ人の先生方の幼子に対する優しい言葉使いや態度)	1名		1名	1名			
8 自由な保育 (子どもたちが興味を持つ遊びから、学ぶことを導き出すこと)			1名				1名
奉仕の精神					1名	1名	
子どもとの接し方						2名	
社交性(楽しい交わり方)							2名
12 保育理念	1名						
幼児教育全般		1名			1名		
自由な発想で考えること			1名				
正しい生き方				1名			
プラス思考で考えること					1名		
learning by doing (経験をすることにより知ることが出来る)					1名		
明るく伸び伸びとした人間像を理想とする教育					1名		
人格形成					1名		
弱い立場のこと、影の部分などを大切にすること						1名	
貧しくとも心豊かに生きること						1名	
グローバルな考え方						1名	
命の尊さ						1名	
保育に対するプライド							1名
探究心							1名
自立心							1名

毎日行なわれる礼拝で培われた信仰心や他者との接し方、キリスト教保育の精神、保育者の視点の置き方や幼児教育の重要性、2年間の学生生活で培われた友情などに多くの回答があった。

質問7. 保育短期大学を卒業して保育現場で役に立ったことをお書き下さい。

役に立ったこと	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生	10回生
1 学んだこと全て (保育に対する基礎的知識を身につけている)		2名		2名	4名	2名	2名
2 キリスト教保育 (優しい心で幼子と接すること、幼子一人一人が神から愛された存在として真向かう)		1名	4名	1名		3名	1名
3 ピアノ	1名		2名		2名		1名
保育者としての姿勢		1名		1名	3名	1名	
お話の仕方 (童話や絵本の読み方)	1名					1名	2名
教育実習で学んだこと (14週間の教育実習)				1名		3名	
様々な教材を用いて指導すること (視聴覚教材、ペープサート、指人形)						1名	3名
8 礼儀	1名					1名	1名
幼児教育全般	1名	1名		1名			
子どもや人の見方の基礎		1名			1名	1名	
11 言葉づかい	1名						1名
子どもたちが興味を持つ遊びから、学ぶことを導き出すこと			1名				1名
子どもの発達段階には個人差があること						1名	1名
宗教心							2名

草創期の北陸学院短期大学 II

15学びによる向上心	1名						
コアカリキュラム	1名						
低学年児童の扱い方	1名						
童話の創作	1名						
画一的な方法を排するという姿勢	1名						
同級生との情報交換	1名						
鉄は熱いうちに打て		1名					
臨機応変な対応		1名					
リズムやゲームの本				1名			
歌唱能力					1名		
言葉かけ					1名		
聖書の教え					1名		
壁面構成						1名	
音楽リズム						1名	
グローバルな考え方						1名	
子どもの生きる力を育むこと						1名	
何事にもプロセスが大切だということ						1名	
講義をした先生方の人格やユニークさ全て							1名
校舎の掃除							1名
子どもの心理を知ることの大切さ							1名
子どものための童話の本							1名
人・物を見て行動や言動に移すということ							1名

保育に対する基礎的知識を身につけているということで「学んだこと全てが保育現場で役立った」という回答が一番多かった。保育者の姿勢として役立ったことは、愛を持って接することや優しい心で幼子と接すること。幼子一人一人が神から愛された存在として真向かうというキリスト教による宗教観やキリスト教保育の精神であった。音楽の授業で養われた能力やテキストが役立ったという指摘も多くあった。

質問 8. 現在までの就職先と勤続年数、就職地をお書き下さい。

4回生

(キ)はキリスト教主義の施設である

- ・ 47年間 社会福祉施設(キ) 9年／保育園(キ)39年 1955～2002 石川県
- ・ 45年間 社会館(キ) 6年／幼稚園(キ) 1年／小学校(キ)38年 1955～2001 神奈川県 石川県
- ・ 40年間 小学校40年 1955～1994 石川県
- ・ 36年間 小学校36年 1955～1991 石川県
- ・ 19年間 幼稚園(キ)19年 1955～1968／1973～1979 石川県
- ・ 1年間 幼稚園(キ) 1年 1955～1956 石川県
- ・ 1年間 幼稚園(キ) 1年 1955～1956 石川県

5回生

- ・ 38年間 愛児園(キ) 6年／幼稚園32年間 1956～1994 東京都 熊本県 三重県
- ・ 37年間 小学校36年／保育所 1年 1957～1993 石川県

多保田 治 江

- ・ 27年間 幼稚園(キ)27年 1956～1983 高知県 福井県  
宮崎県
- ・ 13年間 保育園(キ)9年／幼稚園4年 1956～1969 東京都 富山県
- ・ 11年間 幼稚園(キ)11年 1956～1961／1964～1970 富山県 石川県
- ・ 6年間 幼稚園6年 1956～1962 石川県
- ・ 2年間 幼児教育研究所(キ)1年／幼稚園1年  
1956～1957／1962～1963 大阪府 石川県
- ・ 1年間 幼稚園(キ)1年 1956～1957 石川県
- ・ 1年間 幼稚園(キ)1年 1956～1957 石川県
- ・ 保育者にならなかった1名

6回生

- ・ 38年間 幼稚園(キ)4年／幼稚園34年 1957～1995 埼玉県 石川県
- ・ 10年間 幼稚園(キ)1年／保育園(キ)3年／地域作業所6年  
1957～1961／1982～1988 神奈川県 石川県  
富山県
- ・ 5年間 幼稚園(キ)5年 1957～1962 石川県
- ・ 3年間 幼稚園(キ)3年 1957～1960 石川県
- ・ 2.8年間 幼稚園2.8年 1957～1960 石川県
- ・ 1年間 幼稚園(キ)1年 1957～1958 富山県
- ・ 回答なし1名

7回生

- ・ 27年間 幼稚園(キ)27年 1958～1985 愛媛県 石川県
- ・ 22年間 幼稚園(キ)7年／保育短期大学(キ)5年／児童館10年  
1958～1966 1977～1981 1988～1998 石川県
- ・ 9年間 幼稚園9年 1958～1967 石川県
- ・ 7年間 幼稚園(キ)7年 1958～1965 石川県
- ・ 5.7年間 保育園(キ)5.7年間 1958～1963 富山県
- ・ 5年間 幼稚園5年 1958～1963 大阪府 石川県
- ・ 5年間 幼稚園5年 1958～1963 石川県

8回生

- ・ 41年間 幼稚園(キ)6年／保育園19年／幼稚園13年／婦人センター3年  
1959～2000 石川県
- ・ 35年間 企業内保育所3年／保育園32年  
1959～1962 1964～1972 1978～2002 東京都
- ・ 30年間 幼稚園30年 1959～1989 石川県

草創期の北陸学院短期大学 II

- ・ 13年間 幼稚園(キ) 5年／幼稚園 3年／保育園 5年  
1959～1967 1976～1977 1978～1983 東京都 石川県
- ・ 7年間 幼稚園 6年／幼稚園(キ) 1年 1959～1965 1967～1968 石川県
- ・ 6年間 幼稚園(キ) 6年 1959～1965 福井県
- ・ 3年間 幼稚園(キ) 3年 1959～1960 富山県
- ・ 1.5年間 幼稚園(キ) 1.5年 1959～1961 富山県
- ・ 1年間 幼稚園(キ) 1年 1959～1960 石川県

・ 回答なし 1名

9回生

- ・ 36年間 幼稚園(キ) 4年／幼稚園 6年／保育園 26年  
1960～1992 1997～2002 石川県
- ・ 19年間 幼稚園(キ) 16年／幼稚園 3年 1960～1966 1974～1987 石川県
- ・ 10年間 幼稚園(キ) 10年 1960～1964 1978～1984 石川県
- ・ 5年間 幼稚園(キ) 5年 1960～1965 石川県
- ・ 4年間 幼稚園 4年 1960～1964 石川県
- ・ 4年間 幼稚園(キ) 4年 1960～1964 富山県
- ・ 3.5年間 幼稚園 3.5年 1960～1963 石川県
- ・ 3年間 幼稚園(キ) 3年 1960～1963 大阪府 石川県
- ・ 3年間 幼稚園(キ) 3年 1960～1963 石川県
- ・ 2年間 幼稚園(キ) 2年 1960～1962 石川県
- ・ 2年間 社会福祉施設 2年 1960～1962 福井県

・ 回答なし 2名

10回生

- ・ 41年間 幼稚園(キ) 14年／社会福祉協議会 6年／福祉作業所 10年／保育園 11年  
1961～2002 富山県
- ・ 39年間 幼稚園 2年／幼稚園(キ) 2年／小学校(キ) 20年／短大(キ) 15年  
1961～2000 神奈川県 石川県
- ・ 39年間 幼稚園(キ) 5年／幼稚園 34年 1961～2000 愛知県 石川県
- ・ 28年間 幼稚園(キ) 28年 1961～1889 新潟県 石川県  
岐阜県 愛知県 長野県
- ・ 25年間 幼稚園(キ) 4年／幼稚園 20年／保育所 1年 1961～1986 石川県
- ・ 22年間 幼稚園(キ) 4年／幼児教室 17年 1961～1983 福井県 石川県  
東京都
- ・ 18年間 幼稚園 9年／保育園 5年／ベビーシッター 4年 1961～1979 石川県
- ・ 4年間 幼稚園(キ) 4年 1961～1965 石川県

多保田 治 江

- ・ 2年間 幼稚園(キ) 2年 1961～1963 石川県
- ・ 2年間 幼稚園(キ) 2年 1961～1963 石川県
- ・ 回答なし1名

回答者66人中、初任でキリスト教主義幼稚園・保育所・施設に勤務した学生が43名（65パーセント）と圧倒的に多かった。20年以上勤務20名（30パーセント）、30年以上勤務14名（21パーセント）、40年以上勤務5名（8パーセント）であった。また、初任で小学校に勤務した学生の勤続年数が36年以上と長期であったことが注目される。いずれも使命を持って子どもと関わる仕事に従事していることが伺われる。一方1年で退職した学生は7名（11パーセント）、3年以内に退職した学生は18名（27パーセント）、5年以内に退職した学生は26名（39パーセント）と勤続年数は両極に分かれた。

質問9. 保育を学ぶ現在の学生に対する要望をお書き下さい。

- ・ 専門職に就くのだから遊びより保育の勉強が大切である（自分を磨くように）16
- ・ 教養と品性を大切にして欲しい16  
（言葉使い、服装、挨拶、礼儀、行動、考え方、美しい女性とは何かを考えて欲しい）
- ・ キリスト教による宗教観を育てて欲しい9  
（教育の原点である神の愛を大切にして欲しい、神を仰いで人との触れ合いを大切にして欲しいクリスチャンとしての保育者になって欲しい、礼拝を大切に考えて欲しい）
- ・ 保育に対してやる気と意欲と情熱を持って欲しい7  
（健康管理と人の意見を聞く柔軟さが必要、問題意識が必要）
- ・ 教育者である誇り（使命感）が持てるよう学びと努力をして欲しい7
- ・ 子どもの目線で物事を見るようになって欲しい、子どもをよく知って欲しい5
- ・ 子どもの心理をしっかりと捕らえられるようになって欲しい3
- ・ 子どもの素直な心、探究心、美しく楽しい音色を聞こうとする耳を育てて欲しい3
- ・ 子どもに夢と感動を与えて欲しい3
- ・ 子どもに「いけないこと」はきっちり指導できる人になって欲しい2
- ・ 子どもに対し深い愛情を持って欲しい2
- ・ 広い視野で物事を見ることができるようになって欲しい2
- ・ ユーモアのある大きな心で子どもに接するようになって欲しい2
- ・ 正しい判断を持って生きていく事のできる人を育てて欲しい2
- ・ 愛校心を持ち、卒業後も交える仲間を作って欲しい2
- ・ 学校を信じて勉強して欲しい2
- ・ 優しく、明るく子どもの心を受け止め、要求に応えられるようになって欲しい2
- ・ 子どもの才能を引き出して欲しい
- ・ 後ろにも「目」を持って常に子どもの態度を把握するようになって欲しい

- ・人を育てることにはやり直しができないので幼児教育を大切に考えて欲しい
- ・キリスト教保育に必要な視聴覚教材を使いこなせるようになって欲しい
- ・コアカリキュラムを真剣に学んで欲しい
- ・人間観、幼児観を確立して欲しい
- ・自分に優しく、且つ厳しくあって欲しい
- ・子どもにきちんとした歌を指導して欲しい
- ・気配りができるようになって欲しい
- ・掃除用具が適切に使えるようになって欲しい
- ・母性愛を大切にしたい
- ・ベビーサインに素直に耳を傾けるようになって欲しい
- ・感謝の気持を持って欲しい
- ・素直な自分作りをして欲しい
- ・絵本の楽しさを伝えて欲しい
- ・子育てを勉強して欲しい
- ・3年間は仕事を続けて欲しい
- ・情緒の安定を心がけて欲しい

要望は、「短期大学生として必要な教養や品性への要望」、「学ぶ姿勢への要望」、「保育に対する姿勢」の大きく3つのカテゴリーに分けることができる。いずれも貴重な要望だと思われるので、今後綿密に検討したい。

### Ⅲ. おわりに

北陸学院は、ミス・ポーター (Francina E. Porter) によって1886年創められた現存するキリスト教主義幼稚園として最古の幼稚園を附属していたが、幼児教育専門家であるとともに、クリスチャンであるという教師を得ることに永年苦勞してきた。当時の園長ミス・ライザー (Irene Reiser) は、幼稚園教師養成機関の設置を1948年3月の理事会に提案し、北陸学院は短期大学設置に踏み切り、1950年5月に「北陸学院保育短期大学」を開学した。そして1952年3月に第一回卒業証書授与式を挙行し16名の卒業生を社会に送り出した。それは附属幼稚園が開園されてなんと66年後のことであった。1回生から10回生の調査によって、草創期はアメリカからの宣教師の先生方も多くキリスト教の行事を授業以外にも学生達とともに祝ったりキリスト教保育について熱く語られたことによって、初任でキリスト教主義幼稚園・保育園・施設に勤務した学生が多かったことが分かった。北陸学院のイメージは「ミッションスクールである」ということだった。授業や学生生活については保育科のみの単科の日本一小規模な短期大学であればこそその利点で「教員との交わりがあったこと」や「学生間の団結心があったこと」が挙げられた。また、保育現場で役立ったことの回答の多い順に、①学んだこと全て、②キリスト教保育(優しい心で幼子と接すること、幼子一人一人が神

から愛された存在として真向かう)、③音楽の授業やテキストであったことが今回の調査で分かった。

Continuation (継続してなされるもの) には Tradition (伝統) と Innovation (改革) が必要である。1 回生から現在 (2002年3月卒業生は52回生) まで本学では修養会と卒業音楽会 (現 卒業ピアノ演奏会) というプログラムが催されてきた。修養会は「ここに集う学生達が、キリストによって生かされている自らを知り、神による生活を完うするように導かれること」という趣旨で開かれるようになったと記されている。(註6) また、卒業音楽会に関して Demand (需要) と Supply (供給) の視点から考えると「まだピアノが普及していない時代に練習することが大変であった。限られた練習時間に学校のピアノで練習した」という回答や「近頃の保育者はピアノ演奏能力が低下したのではないか」という回答も寄せられた。現代社会は豊かになり学生の大多数が練習楽器を持っている昨今においてこのような回答が寄せられたことは、音楽担当者として一石を投じられた思いである。

この小論を執筆するにあたり、元保育科長の南 信先生の多大なるご協力があった。また、約50年前のことを思い起こし回答して下さった同窓生の方々に感謝を申し上げる。特に、現在も第一線で保育に携わり、若き保育者の指導的立場にある同窓生や保育を志す学生のための学校を運営している同窓生の方からも回答を寄せていただき貴重な意見を伺うことが出来たことも付け加えて。

#### 引用文献・参考文献

- |    |        |                  |       |           |
|----|--------|------------------|-------|-----------|
| 註1 | 多保田治江著 | 「北陸学院短期大学紀要 第33号 | 2002年 | pp. 15~27 |
| 註2 | 南 信子編集 | 「保育短期大学十年史」      | 1961年 | p. 108    |
| 註3 | 南 信子編集 | 「保育短期大学十年史」      | 1961年 | p. 237    |
| 註4 | 南 信子編集 | 「保育短期大学十年史」      | 1961年 | p. 239    |
| 註5 | 南 信子編集 | 「保育短期大学十年史」      | 1961年 | p. 238    |
| 註6 | 南 信子編集 | 「保育短期大学十年史」      | 1961年 | p. 65     |